

プロジェクト課題活動実績

課題名

美祢市の地域・農業を支える集落営農法人の育成

美祢農林事務所農業部 チーム員：◎吉松英之、山本卓生、○山榮午朗、藤山昌三
高橋美智子、杉富士子、三吉博之、陣内暉久

<活動事例の要旨>

集落営農法人の設立に向けた話し合い活動の推進と、美祢地域集落農業法人協議会の活動強化及びモデル法人の育成に向けて、1 法人設立支援と、3 地区における法人等の連携活動の醸成、法人導入4品目の単収増加に向けた栽培指導を行い、さらなる法人の経営安定を支援した。

1 普及活動の課題・目標

美祢市においては、平成28年度末現在、24法人が設立されている。

当地域では「限られた人材を活かせる営農体制の早期整備」、「法人収益の改善に向けた短期及び中長期の対応」を重点課題として捉え、解決に向けた取組を進めた。

これらの課題解決には、一体的かつ迅速な対応が求められることから「徹底した話し合いによる自立の加速化」をキーワードに集落営農法人の育成を進めるとともに、法人連携の強化が図られるよう地域法人協議会活動を支援した。

2 普及活動の内容

- ① 集落営農法人の設立に向けたコーディネート及び設立に向けた話し合い活動を推進
- ② 美祢地域集落農業法人協議会の活動強化
- ③ モデル法人の育成

3 普及活動の成果

① 集落営農法人の設立に向けた話し合い活動の推進

美祢・秋芳・美東の各営農センターを核として、法人化を志向する組織や集落の状況、個人農家等について毎月作成した一覧表を基に情報共有を行い、必要に応じて協議・対応した。次年度以降法人化に向けた秋芳地区2地区がリストアップされ、今後代表者等と営農体制整備に向けた協議を進める。

前年より法人化を検討してきた1地区については、法人設立の準備に係る資料作成、登記手続きを支援したことで、平成29年1月に法人設立総会が開催され、同年4月に登記予定である。

② 美祢地域集落農業法人協議会の活動強化

3地区でそれぞれ意見交換会を夏・冬の2回開催し、美祢地区では「人材確保、反収向上策」等、秋芳地区では「機械の共同導入・利用、個人農家との連携」等、美東地区では「作業料金の統一、今後の法人運営」等のテーマで法人の課題について情報交換や解決策について協議した。また、法人連合体についての情報提供や、各地区での連携の可能性を模索した。その結果、農地を守る仕組みには、集落営農法人+大規模農家との連携が必須であることから、特に美東・秋芳地区において検討を進めることになった。

栽培品目ははだか麦や飼料用米、ハクサイ、加工キャベツの生産を安定するため、研修会の開催又は技術実証ほの設置により収量向上を図り、低収量要因の排除する対策を提案した。しかし、主要な時期での天候不良により十分な管理が出来ず、いずれ

の作物も、目標収量には届かず、十分な農業所得へ反映出来なかった。

③ モデル法人の育成

(農)HTに対して、中長期計画作成に向けて運営体制や経営の現状把握に努めたが、法人の事情により検討を断念することになった。

4 今後の普及活動に向けて

- ① リストアップした集落へ法人化検討を啓発することにより法人設立を推進する。
- ② 担い手総合支援協議会の活動強化のもと、意見交換会の話し合いを元に法人と個人農家との連携をコーディネートすることで、各地区の農地を守る仕組みづくりを進める。また、生産品目の技術向上とモデル法人育成の実績を波及することにより他法人経営の安定を支援する。



【法人化に向けた検討会】



【(農)上郷設立総会】



【法人代表と大規模農家との意見交換会】



【排水対策研修会】



【共同利用に向けた機械集合研修会】



【機械定植されたキャベツ畑】